



平成 30 年 2 月 16 日

<各位>

ナノキャリア株式会社
代表取締役社長 中 富 一 郎
(4 5 7 1 東 証 マ ザ ー ズ)
問合せ先 取締役CFO兼社長室長 松山哲人
電 話 番 号 0 3 - 3 2 4 1 - 0 5 5 3

核酸医薬品に関する共同研究について

当社は現在、各国で進めている第Ⅲ相臨床試験を含む複数の臨床プログラムを着実に進捗させるとともに、次世代型の技術として、患者様の QOL 向上にさらに貢献できる革新的な Active 型デリバリー医薬品の創製に取り組んでいます。当社独自技術であるミセル化ナノ粒子システムにセンサー機能を付加し標的性を高めた ADCM(Antibody/Drug Conjugated Micelle)技術など複数の Active 型デリバリー創薬技術は、低分子のみならず、核酸やたんぱく質等の高分子を含め、広範囲にわたる薬剤を安定的に内包し、患部へより選択的に届けることを可能にします。

当社はこの Active 型デリバリー創薬技術を用いて、中外製薬株式会社との間では siRNA 医薬品に関する共同研究を進めてまいりました。当社は、これまでに得られた様々な知見から、引き続き実用化に向けた研究を進めてまいりますが、実用化に向けた製剤最適化についてクライテリアを再考し、両社における今後の提携の在り方について見直すことにしましたのでお知らせいたします。

尚、本件による平成 30 年 3 月期の業績へ影響はございませんが、新しい医薬品の可能性を追求する共同研究など積極的な活動を推進し、見通しに変化が生じた場合には速やかに開示いたします。

以上